

平成 28 年 3 月 7 日

News Release

JR東日本メカトロニクス株式会社
株式会社 BITZ
ブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社

タブレット端末での交通系電子マネー決済開始！ ～加盟店様のコスト・運用負荷を大幅に軽減する J-Mups 対応決済モジュール^{※注1}を採用～

株式会社 BITZ（本社：東京都渋谷区、代表取締役：森田正孝、以下「BITZ」）、ブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：島田創一、以下「BMT」）、JR東日本メカトロニクス株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：椎橋章夫、以下「JREM」）の3社は、京王線沿線の幡ヶ谷・西原・笹塚地域（東京都渋谷区、通称：「ささはたエリア」）の商店街に、タブレット端末で地域ポイントサービスと連動した交通系電子マネー^{※注2}の決済サービスを開始しました。

ささはたエリアでは、2015年12月1日よりタブレット端末を使った「ささはたポイント」のシステムが導入され、その後、交通系電子マネー決済も順次導入開始されております。このソリューションは、タブレット（Android）端末にポイント・交通系電子マネー等の各アプリケーションをインストールすることで、1台で各サービスの操作が行えることが特徴となっています。

交通系電子マネー決済は、BMTとJREMが共同開発した低価格な端末「J-Mups 対応決済モジュール」を介して、クラウド型の決済システム J-Mups^{※注3}センターに接続されています。そのため、低コストで導入が行われました。また、J-Mups 対応決済モジュールをタブレット端末から制御する交通系電子マネー決済用アプリケーションの「Jレジアプリ^{※注4}」は、地域ポイントアプリケーション^{※注5}と連動しているため、決済時の店舗オペレーションが簡易になり、利便性向上が図られています。

さらに、様々な設置環境にも柔軟に対応できるようタブレット端末と交通系電子マネー決済モジュール・プリンター間はコードレスとなっています。

BITZ・BMT・JREMの3社は、複数アプリによる連動ソリューションを3月8日から開催される「リテールテック JAPAN2016」に出展し、他の商店街にも展開できるよう推進してまいります。

以上

※注1：交通系電子マネー決済時のセンター接続やリーダーライタの制御部分をパッケージ化した機器

※注2：「Suica」「PASMO」「Kitaca」「TOICA」「manaca」「ICOCA」「SUGOCA」「nimoca」「はやかけん」に対応

※注3：「J-Mups」とは、三菱UFJニコス株式会社とJR東日本メカトロニクス株式会社が共同で開発したクラウド型の決済システムです。

※注4：Jレジアプリはブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社の製品です。

※注5：地域ポイントアプリケーションは株式会社BITZの製品です。

- ・「Suica」は東日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「PASMO」は株式会社パスモの登録商標です。
- ・「Kitaca」は北海道旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「TOICA」は東海旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「manaca（マナカ）」は株式会社名古屋交通開発機構及び株式会社エムアイシーの登録商標です。
- ・「ICOCA」は西日本旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「SUGOCA」は九州旅客鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「nimoca」は西日本鉄道株式会社の登録商標です。
- ・「はやかけん」は福岡市交通局の登録商標です。

■ 本件に関するお問い合わせ先

JR東日本メカトロニクス株式会社 営業本部 J-Mups 事業部 TEL：03-5365-3628

株式会社BITZ TEL：03-6304-2042

ブリッジ・モーション・トゥモロー株式会社 営業本部 03-6300-5688

参考資料

1. 導入端末機器構成

(1) 機器構成

端末構成	
本体タブレット端末	Nexus 7 (Androidタブレット(NFC搭載))
モバイルプリンター	SM-S210i
交通系電子マネー	J-Mups対応決済モジュール (U110)
決済端末	リーダーライタ (NJJ-169-J)

(2) 利用アプリケーション

アプリケーション		
ポイント	地域ポイントアプリ	(株)BITZ
交通系 電子マネー決済	Jレジアプリ	ブリッジ・モーション・トゥモロー(株)

2. 端末イメージ

J-Mups 対応決済モジュール



リーダーライタ



Nexus 7 (Android タブレット (NFC 搭載))



モバイルプリンター